

## 平和を考える「小中学生作文集 第30集」 の発行によせて

沼津市  
沼津市教育委員会

沼津市は、昭和62年3月20日に、市議会の議決を得て「核兵器廃絶平和都市宣言」を行いました。核兵器の廃絶は、世界の人々の共通の願いであり、核戦争の危機に対する市民及び市議会の意思を踏まえて、平和への願いをあらわしたものです。

以来、この宣言の趣旨について市民の理解と協力をいただくために、市内の要所にモニュメントを設置するほか、平和映画の上映会や「原爆と人間」のパネル展を開催してまいりました。

この作文集は、市内の小中学生が、授業や各メディア、身近な人の体験談などから、平和について感じたことを作文や詩で表現した作品を掲載したものであり、本年も多くの作品が寄せられ、第30集として発刊しました。

作品からは、小中学生の皆さんが戦争について調べたり、聞いたり、体験したりしたことを基に、自身を戦時中の悲惨で過酷な状況に置かれた同年代の少年、少女に重ね、現在の当たり前で平和な生活がどれほど幸せなことなのかを改めて考えるものや、一方で、戦争を実体験として聞く機会が年々減っていくことに危機感を覚え、戦争や核兵器の凄惨さを伝え続けることの大切さを深く理解し、歴史に刻まれた多くの悲しみの記憶を風化させないために、戦争を知らない世代だからこそすべきことを真剣に考える姿勢もうかがえました。

「平成最後の夏」にそれぞれに抱いた平和に対する強く真つすぐな想いを胸に、今後も皆さんが平和な未来を築いていかれることを信じています。

どうか、一人でも多くの方々が、この作文集を読んでもらえるよう願っております。